2026年1月5日 Ver.1.1

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	腹部MRIのT1マッピングにおける脂肪の影響および最適撮像法に関する検討			
② 実施予定期間	2023年11月6日から2029年3月31日			
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科でCanon社製の3テスラMRI装置（Vantage Centurian）を用いてT1マッピングを含む腹部MRI検査を受けられた18歳以上の患者さん			
④ 対象期間	2022年10月1日 から 2023年8月31日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	放射線科、第1内科、第1外科、第2外科			
⑦ 研究責任者	氏名	田辺 昌寛	所属	放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、現病歴、既往歴、血液生化学検査（総蛋白、アルブミン、AST、ALT、LDH、ALP、γ-GTP、ビリルビン、アミラーゼ、リパーゼ、HbA1c）、MRI画像（T1値、脂肪含有率）			
⑨ 研究の概要	MRIにおいて、肝臓や膵臓のT1値は線維化・浮腫・脂肪沈着などの病理組織学的変化を反映するとされており、T1マッピングによるT1値の定量評価は、肝硬変や耐糖能異常の評価に有用であることが報告されています。肝臓や膵臓では線維化によりT1値が上昇しますが、脂肪沈着がある場合にもT1値が上昇することが知られており、非アルコール性脂肪性肝疾患のような肝臓に脂肪沈着を伴う疾患において線維化の評価を行うことはしばしば困難となります。T1マッピングにおける脂肪の影響や適切な撮像シーケンスに関する検討はまだ十分に行われているとは言えません。 本研究の目的は、肝臓や膵臓においてecho time（TE：RFパルスを与えてMR信号を得るまでの時間）の異なるT1マッピングを、脂肪の定量評価が可能なproton density fat fraction（PDFF）における脂肪含有率と比較検討し、T1値測定における脂肪沈着の影響を検討することです。肝臓や膵臓のT1値を正確に評価することは、様々な肝疾患や膵疾患の病態把握に臨床応用できるとともに、非アルコール性脂肪肝炎の早期発見にも役立つことが期待されます。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2026 年 2 月 27 日		
⑪ 研究計画書等の	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人			

閲覧等	情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院　放射線科　担当者：田辺 昌寛			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285